

写真展 「日本を旅立つ最後の日々 in 神戸」

～ブラジル移民に思いを馳せる～

2021 12/5日 ~ 2022 3/27日

入場無料

海外移住と文化の交流センター 1階特別展示場

開場：午前10時～午後5時（入場は午後4時30分まで）休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始12/29～1/3

ご存知ですか？ 神戸はブラジル移民の出発地だった

93年前の1928(昭和3)年、神戸に誕生した国立移民収容所(現・海外移住と文化の交流センター)。ブラジルへの移住者が日本中からここに集まり、7～10日間、研修と検診の日々を送りました。その合間に、日本最後の思い出づくりの日もありました。

ブラジルへの移住者は25万人、そのうち19万人がこの建物から旅立ちました。ブラジルの日系人にとっては、神戸とこの建物が心のふるさとなのです。写真展では、故郷で見送られ、この建物で過ごし、神戸港から旅立つまでを展示。神戸の当時の町並みも紹介しています。

ブラジル移民の心に思いを馳せながらご覧ください。



船旅を想定した2段ベッドに囲まれて就寝前の集い



移民収容所を出発する移住者たち 神戸市文書館提供(神戸観光局(港湾振興部))



元町商店街の鈴蘭灯がブラジル各地で日本のシンボルになった 神戸市文書館提供



港までは徒歩やバスで(昭和28年5月) 写真：毎日新聞社



盛大な見送りを受けて出港 写真：飯沼写真館

初公開「らぶらた新聞」

1938(昭和13)年3月26日～4月30日
移民船「らぶらた丸」の航海中に発行された船内新聞の原物を初公開。第1回芥川賞の『蒼氓』や作者・石川達三との関わりも興味深く紹介。



海外移住と文化の交流センター

神戸市中央区山本通3丁目19-8



■ 主催：一般財団法人 日伯協会、神戸市 ■ 協力：西日本旅客鉄道株式会社

NIPPAKU Since 1926

一般財団法人 日伯協会 Associação Nipo-Brasileira

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階

電話・ファックス 078-230-2891 E-mail info@nippaku-k.or.jp

URL http://www.nippaku-k.or.jp

○電車：JR・阪神電車「元町」東口より鯉川筋を北へ徒歩15分

神戸市営地下鉄「県庁前」より、徒歩10分

○神戸市営バス：「三宮駅前」または、「元町駅前」から⑦系統に乗車「山本通3丁目」下車、北西へ徒歩3分または「山本通4丁目」下車、東へ徒歩3分

*お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。